

CBC NEWS

出会いで決まる 出会いが決める

駒込の桜が咲くと、新入生がやってくる。学校にとっては毎年のことだが、学生にとっては生涯で一回限りの体験である。そんなことを考えていると、ふっと十四年前の出来事が心によぎった。

あれはオリエンテーションの時のことだったと思う。まもなく七十歳を迎える学院長がテーブルコーダーを机に置き、最前列で必死に板書している私に尋ねた。「君、財布を貸してくれないか。」一瞬間聞き間違えたかと思ひ、訝しげな顔で校長を見た。大人(だいいん)の風格がある顔。セルロイドの眼鏡の奥で細い目が笑っている。そして外国人の私が解るようにややゆつくりともう一度「君、財布を貸してくれないか」と言った。断る理由も見つからない。汗を吸って型崩れをした黒革の財布を尻ポケットから引つ張り出して

手渡した。おもむろにそれを取ると院長はこういった。「兄弟姉妹収入の少ない今から、什一献金をする習慣をつけなさい。財布にはボール紙で仕切りを作り、収入があつたときにまず献金を取り分けなさい。」そういつて今度は自分の尻ポケットから財布を取り出した。洒落た茶色の札入れである。彼は「ほら」と言つて学生に見えるように札入れを開いた。そこには新しい札入れには不釣合いの破れたボール紙の仕切りが収められていた。



十四年も経つのにあのころの記憶は鮮明だ。思えば無鉄砲としか思えない海外の神学校で学ぶという決断。だが何も知らずに行つた先で私を待っていたのは素晴らしい出会いの連続だった。「小事に忠実な人は、大事にも忠実である。そして、小事に不忠実な人は大事にも不忠実である。【ルカ十六章十節】」をボール紙の仕切りで教えてくれた院長。学生の質問に憎らしいぐらい的確に答える教養学の

中央聖書神学校入学案内
早期入学試験日 2005年11月8日(火)
願書締め切り 2005年10月末日
詳細は学校事務所まで
〒170-0003
東京都豊島区駒込 3-15-20
TEL 03-3918-4925
e-mail cbc@agj.or.jp
<http://www.cbcj.ac.jp>

私達神学生は毎週金曜の午後、校外に出て伝道している。ある時私は、二十代後半の男性と話をすることができた。その人は、聖書の言っている神様を信じてはいなかったが、神様と交わりたいたいという気持ちを持っていた。若い世代の人であっても、神様を求めている人は確かにいるのである。そのような人を見つけるため、私達は実際に足を運び、伝え、またある人には励まし、本当の神様を正確に伝えるために日々学んでいる。美しい足を持ちたい。(M・S)

CBC NETWORK

二月八日、二十一日、二十二日、二十六日、ホイトン大学教授のブック博士を迎えて「イザヤ書」と「モーセ五書」の冬期研究科を開講した。
二月三日、餅つきを通して、教師と学生の交流の時をもった。
二月十七日、CBCチャペルにおいて、社会問題委員会主催の特別講義を、菊山校長が「民族と宗教」パレスチナ問題を中心に講義した。
二月十九日、分校のスクーリングがあり、菊山校長が「モーセ五書」を講義した。
二月二十二日、CBC臨時講師であられた鎌田正治氏が天に召され、十条キリスト教会にて二十一日、前夜式、二十三日、告別式がもたれた。鎌田氏は英語基礎を教えられ、池の鯉を多く寄贈された。
三月四日、卒業夕食会が持たれ、卒業を祝った。
三月八日、第五十五回卒業式があり、十二名の卒業生を送り出し、奉仕者コース修了者が二名あつた。
三月十五日、二〇〇五年度の入学試験と面接を行った。



三月十九日、二十八日、大坂太郎舎監引率の下、五名の最上級生が四国キヤラバン伝道に当たった。
四月四日、教授、講師によるカリキュラムに関する勉強会を開いた。
四月五日、第五十七回入学式が行われ、七名の新生が入学した。
四月五日、入学式後、全体教師会と運営委員会(菊山和夫校長、菊地和博学監、堀川寛学年主任、久保田潔教授、込尾義隆教授)を開いた。
四月六、七日、北野耕一師、長屋勇師をメッセセンジャーとして迎え、聖別式をもった。
四月七日、学生総会が行われた。
四月七日、堀キリスト教会において、ろう者聖書学校の開校式・第一回入学式を開き、新入生三名の第一期生と九名の聴講生を迎えた。

後援会入会のご案内

中央聖書神学校が開校されて早五十五年が経過いたしました。その間に講演会も発足され、特にCBCの働きのため重荷を負って、この後援会を支えて下さった方々の貴い祈りと献げものによって今日に至りました。

さらに今後共一層の諸設備の充実とゆとりある運営のためにも、ぜひ教会単位で、また教職、信徒各位にも、本会への加入をぜひにお願いするものです。

出費多端の折ですが祈りと信仰と喜びをもってどうかご協力賜りますように。主なる神の恵み豊かなれ!

中央聖書神学校後援会

会長 長屋 勇

後援会入会要領

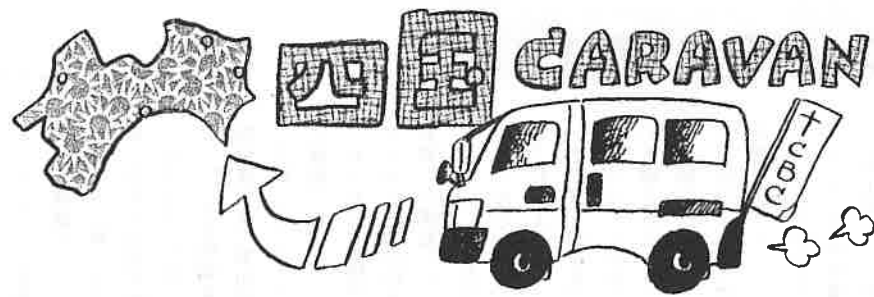
個人会員 一口年五千元
法人会員 一口年一万元
☆連絡は中央聖書神学校内
後援会宛にお願いいたします。

編集

後記

私たちは「神の愛」によって神と結ばれている。「結ぶ」とは二つ以上のものをつなぎとめること、離れているものをつなぎとめることである。CBCニュースとは、我々神学生が学びと訓練をしているここ神学校と、全国の教会を結ぶものである。制作する立場となつてCBCニュースの大切さを改めて知った。内容の詰まったCBCのニュースを全国に届けたい!そして数年後再びこれを読み返したとき、過去と今とを結んでいるものでもあつてほしい。(S・K)

編集スタッフ
岩田 明美 北澤 成弘
川上 基枝
編集責任者 堀川 寛
事務局 中央聖書神学校
豊島区駒込三二一五二〇
TEL 〇三三九一八四九二五
FAX 〇三三九一八四〇六四



恵みをいただいた教会

阿南神召キリスト伝道所
松山神愛キリスト伝道所
高知須崎教会
窪川伝道所
中村福音キリスト教会
土佐清水キリスト教会
高知聖書教会

お世話になりました。主の祝福と守りがありますように。

今年のキャラバンは、三月十九日～二十八日の十日間、大坂太郎先生の引率のもと四国教区へ行ってきました。メンバーは、新四年生【榎本勝夫・新保孝史・川野由紀・生武咲栄・四戸久美】の五名でした。主の守りと、教区の皆様の祈りと奉仕に支えられ、微力ながら福音宣教のお手伝いをさせていただきました。感謝しつつ与えられた恵みを証しさせていただきます。

お証

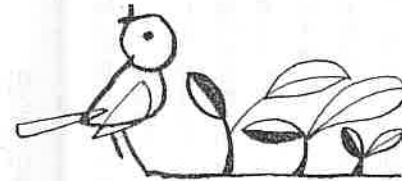
五日間の窪川伝道所、五十歳を過ぎて献身された熱血漢谷口先生と共に御奉仕できたことを感謝します。昼間は近所に訪問伝道です。過疎化の進んだ山里に、福音の必要をひしひしと感じました。また、飢え渴いた魂を主が憐れんで、伝道集会では救われる魂が起こされました。ハレルヤ！全ては主の栄光に！どこ行っても四国八十八箇所めぐりに多くの人が行脚しているのを見ます。その横をCBCキャラバン隊が車をすつとばし、キリストの福音を伝えて来ました。主の十字架の崇高さを改めて知ったキャラバンでした。ハレルヤ！
(川野由紀)

三月十九日の夜明け、十日間にわたり四国中を巡回する神学生伝道キャラバンが開幕。諸教会にて催された集会や交わり



を通して良い刺激を受けると共に、普段から御支援していただいている方々に神学校をより知っていただく機会が与えられたのは本当に幸いです。兄弟方との別れを惜しみつつも、次に行く教会への期待に胸を膨らませながら車中ひたすら地図とにらめっこしていた日々を思い出します。このような絶好の機会を与えて下さった主と、お招き下さった諸教会の皆様から感謝しつつ。
(新保孝史)

私たちの 献身



四月五日(火)、CBCに新しい仲間が加わりました。皆様に紹介致します。



川上 基枝

イエス・キリストを信じ救われた時から、私は神様の喜ばれる事がしたいと思っていました。しかし、その思いは時間と共に小さくなり自分中心の日々を送るようになりました。そんな私が献身に至ったのは、仕事で病院にいた時、入院患者の方が亡くなるという場に遭い、そこで死という事を考えさせられたからです。医者には患者の病気を治すことができて、救う事ができないと思った時、本当に必要な命の事を一人でも多くの人に伝えたいと思いました。ただ神様の御言葉を信じ従っていきたいです。
(仙台神召キリスト教会)



北澤 成弘

一九九八年六月に『・天国のかぎを授けよう』『マタイ十六章十九節』『・天に、宝をたくわえなさい』『マタイ十六章二十～二十一節』の御言葉が与えられ、献身の思いが与えられました。しかし、神様からの召命から目をそらしつづけていた私に神様は幾度も働きかけて下さりました。私は今までの自分の姿勢を悔い改めため二〇〇三年五月に献身を決意しました。与えられた召しを大切にしていきたいです。ハレルヤ！
(杉田キリスト教会)



武石 喜光

私は一九九八年十二月六日、二十四歳で横浜の杉田キリスト



柴崎 めぐみ

教会で主の哀れみによって洗礼を受け、二〇〇三年関東聖会(川口リリア)で招きの中で神様から召命を頂きました【イザヤ六十一章一～三節】。すべてにおいて神様が私を導いてくださるという御言葉の約束に励まされ、勇気が与えられました。主の御言葉に忠実に従い、また御旨に敏感な者になりたいです。また、日本の地にあつて主の大きな御業を望み確信しています。すべての主の働きに主の兄弟が、また主の教会が用いられることを願います。
(杉田キリスト教会)

『わたしについて来なさい。』【ルカ五章二十七節】この御言葉に立ち、中央聖書神学校に入学できたことを心から感謝いた

皆さん、こんにちは。僕はクリスチャンホームなので小さい頃から教会に行っていました。しかし成長するにつれて教会に行くのが嫌になり、ちょうどその時に特別集会があったので「今日神様を信じなければ、もう教会には行かない」と決心しました。そう決めて望んだ特別集会において「神様は間違いないで生きています。そして愛してくれている。」この神様のために生



下方 悟

します。献身について神様に祈り求め、このように答えてくださいました。入学するにあたり大勢の方々の祈りがあった事、心から感謝いたします。これから、生涯イエス様が道であり、真理であり、いのちであることを証していきたいと思えます。(山形神召キリスト教会)



田村 敬子

三年前に母が天に召されたことをきっかけに、私はどれだけ母に頼り、とりなしの祈りに支えられていたのかはじめて気がつきました。そして【ルカ二二章三一、三二節】の御言葉に出逢いました。イエス様が私のために祈って下さっていることを知り、立ち直ることができました。しかし「兄弟たちを力づけてやりなさい。」という声には従うことができず、逃げつづけていた私に『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によつて』と神様は語りかけて下さりました。私には何もありませんが、神様が立てて下さっている御計画を歩むにふさわしい者につく



藤田 豊樹

私は中央聖書神学校に入学する前は、別の神学校を卒業して仕事しながらクリスト者として生きていくことを考えていました。しかし私の内には、いつも心に平安がなく、天の父なる神様に「NO」と語られているように感じました。ある時私は心の内にある献身の思いを神様に叫び求めた時に、心が平安で満たされました。そして私のためにサポートして下さいる方々が与えられ、中央聖書神学校への扉が開かれたのです。(博多ニューライフチャーチ)



「あなたが私を選んでくださった。私があなたを選んだ。」この三年間を振り返って見れば、「やっぱり、神様がいつも私と一緒にいて下さったんだ。」成功した時も、失敗した時も。この学校を通して色々な事を学ぶ事が出来た。ハレルヤ！これらの事が実践的なものになるように祈りつつ。心の中に色んな気持ちが交錯しています。楽しい事も辛い事も沢山ありました。しかし、全ての事をあの方が選ばれたから、この先のSTEP BY STEP も一緒に歩めるの



アシス・ロペス

店舗コンサート伝道、ハンセン氏病施設全生園訪問、四次入寮、快適な寮生活、次女出生、退寮、卒業、母教会派遣、休職、留学：充実した時でした。全国諸教会の皆様のお祈りと献金を感謝します。(任地・金沢基督教会)



伊藤 衛

CBCでの生活で良かった事は素晴らしい、友人達や先生方に囲まれて学校生活を送れた事である。そのおかげで私の性格は少しずつ変えられたように思う。CBC入学前の私はかなり控えめな性格であったが、入学後は言いたい事を何でも言える人になってしまっていた。この事で、多少、周りの人達を傷つけたかもしれない。(いたらごめんです)とにかく私は、周りの人達に受け入れられたように思う。有難い事である。この経験を生かして、私は人を受け入れ、生かすような働き人になりたいと願っている。(任地・福島中央キリスト教会)

はお楽しみ♪冬来たりなば春遠からじ。
(任地・登戸エクレシヤ
キリスト教会)



佐藤 満子

四年間の関東分校においての学びと、一年間の寮生活の中における本校での学びにおいて、主にある多くの方の祈りに支えられ主は導きをもつてここまで支えて下さいました。十字架の愛に感動し、涙を流して従ってききましたが、それでも内の古き人は罪との戦いの中に自我が砕かれる必要があり、自分に死ぬ事の訓練を受けています。まだまだ訓練途上にありますが、御言葉の中に生きるクリスト者として、主の用に間に合う器になりたく、更に御足の跡に従って尊い魂を導いて行きたいと心より願っています。



全国諸教会の先生方、信徒の皆様
の貴い献げものと、熱い祈りに
支えられましたこと、生涯の宝物
としてしっかりと心に抱き宣教
地に赴きます。
本当にありがとうございました。
天よりの祝福が豊かに注がれ
ますよう祈ります。

卒業生一同



オープンキャンパス案内

2005年9月23日(祝)

一年に一度です。ぜひ、神学校
を見学しに来てください！

卒業おめでとうございます 第55期生



木下 美紀

CBCでの生活は波乱万丈でありました。この年代では体験出来ない事を体験させて頂き、心身ともに一回りも二回りも大きく、広くさせて頂いたように感じます。神様に支えられ、祈りによって支えられ、先生方、兄弟姉妹によって助けられ、無事卒業できる恵みを感じしております。「全ての人の後になり、全ての人の仕える者になりなさい。」【マルコ九章三五節】の御言葉を心に刻み「人事を尽くして天命を待つ」の精神で奉仕に励みたいと願っております。

〔任地・八王子シャロン教会〕



宮澤 幹彦

私が神学校で学んだ事は、



杉浦 麗美

誰かの名言か「神学校では一年目は人に頼り・二年生は自らに頼り・三年は神に頼り・四年目に神を見出し卒業する。」これで行くと私は神を

自分は神について全く知らないと言う事、そして自分ばかりし種ほどの信仰も無いと言う事でした。しかし神様は、そんな私のために人として生まれ、十字架に掛けられ、死んで甦って下さり、私を招き、いつも共に居て下さるのです。もう逃げられないのです。私は自分では何も出来ませんが、イエス様が導いて下さるままの奉仕を、短い期間かとは思いますがさせて頂ければと思っています。「神の約束はことごとく、この方において」【二コリ一章二十節】

〔任地・小岩栄光キリスト教会〕



田中 清人

風任せの人生がいつしか、天の風に身を任せるようになった。帆を精一杯張り、船出の日を迎えようとしている。空海と言う人は唐に渡る前、昔のエリート学校をやめて、空白時代を送ったと言う。その「謎の空白時代」の後に空海も唐への船出の日を迎えたらしい。私の謎の空白時代は思いもよらぬ事ばかりだ。でも謎の中にも神様が必要なものを込めていたんじゃないか。

見出さないコースの卒業生となる。しかし、憐れみ深い神は確かにご自身を現わして下さった。憩いの水のほとり、時には死の影の谷で。その神との出会いを握り締めこの駒込山を下ろう。先に待ち受ける事は何か？今は見えず。しかし主は私の羊飼い。そして私は主の羊であります。

〔任地・相模原神召教会〕

さながら尻の青い漁師の如く旅立ちの夜明けを待つ。「狂うとは神への火の燃ゆる如くの熱心だ」と言う私の爺様が言っていた言葉に熱いものを感じながら。

〔任地・鳥取開拓〕



長谷川 律子

「三年間は長かったですか？」と聞かれると、「うーん」と詰まってしまう。短い、長いと言うもので計れない濃い三年間だった。その三年間の様々な中で知らされたのは自分が罪人であると言う事であつた。しかし、だからこそ、主イエス・キリストの十字架と復活が救いである事に感謝する三年間だった。主により、良き仲間に出会い、学ぶ場を与えられた事を感謝し「主に喜ばれる者」を目指していきたい。

〔任地・境港キリスト教会〕



布施 宣義

私たちは五五期生。ついついGO-GO!と叫びたくなる。背番号五五と言えば、松井秀喜選手が付けていた番号。王貞治が持っている年間ホームラン記録、五五本を意味し、それを破れる打者となる事を願い、松井に託された番号だ。彼がいた古巣のジャイアンツ。二〇〇四年のキャッチフレーズは「For the Glory」だった。実に聖書的だ。私の四月からのホームグラウンドは函館。「For the Glory」をモットーに、ホームランをかつ飛ばしたいと思う。皆様の祈りと応援を感謝しつつ。

〔任地・函館開拓〕



平松 厳

三年間の様々な事を学ん



保田 美裕希

土の器は学校生活の中でもがき苦しみながら、土の器であるがゆえに主の絶大な力の栄光がはつきりと輝くのだという単純な事に気付かされて、ほっとしています。真摯に真

だ。教室だけでなく、寮で、厨房で、派遣先でも。学びながらも、多くの問題に直面し、挫折と決心を繰り返した。問題の多くは人間性の中にある事も分かった。自分の足らなさも痛感した。学んだ事が人の中でどう生きるのだろうか。「実践無き神学は似非、愛無き神学は狂気」ある先生から聞いた言葉。学んだ事が輝くため、学びを人格に反映させたい。正しさが人を傷つける事が無いよう、そこに愛を加えたい。御言葉が飾りとならないために、その言葉の通りに生きていきたい。

〔任地・和泉神愛キリスト教会〕



矢吹 大介

剣に関わり、祈り支えてくださったってきた諸先生・関係者のみなさまへの感謝は言い尽くせません。深い愛着を覚える共に学んだ学生達は、生涯の同業者としての主からのプレゼントです。これからが本番です。愚かな自分を置いてくださる神様の御業に信頼しきって、ダイナミックなクリスチャンの人生を大勢の人と共に有できる事を期待し今出てゆきます。

主の御名を賛美します。在学三年間で印象深い事を記します。入学、通学、妻の安産のための祈りと断食、教会員の方々の癒しの為の祈りと断食、八月長女出生、娘の癒し、神学教師から受けた深い学び、課題提出、派遣教会（金沢基督教教会、信愛キリスト教会、羽村教会）上野公園野外生活者の方々への伝道、商店街空